

輝くメダルを目指して

～「チェアスキー」世界ランキング総合1位のトップアスリート～

鈴木 猛史さん (文化情報学部2010年度卒業)



(そんな事を言っても、パラリンピックとワールドカップではプレッシャーのかかり方が違いますが。)

この遠征も約1ヵ月間を予定しており、クリスマス前に日本へ戻ってきます。続いて、年が明けてすぐにカナダ&アメリカ遠征があり、ここではワールドカップに参加を予定していて、この期間は他の遠征と違い大会だけになりますので約20日間と短い遠征になります。

レース終了後は、すぐに日本へ帰国し、大会や合宿、結団式などを行い、2月中旬からイタリアで開催されるワールドカップへ参加し、そのままパラリンピックが開催されるソチに入ります。

パラリンピックは3月5日～16日までを予定しており、5種目(※滑降、スーパー大回転、スーパーコンビネーション、大回転、回転)が行われる予定です。

4年前のバンクーバーパラリンピックでは、銅メダル1つで終わりましたが、ソチではバンクーバー以上の成績が残せるように残り数ヵ月間、気合いを入れてトレーニングを頑張り、そして大学へ綺麗な色のメダルを持って帰ってきたいと思っています。

学生へのメッセージ

皆さんには、これからも挑戦する気持ちを忘れないでいて欲しいと思います。

私は小学校2年生の時に車いすの生活になりました。車いすになったからと言って出来ない事が多くなるのではないかと感じていました。その時に小学校の先生に言われたことがあります。「まず挑戦してみなさい」という言葉でした。

挑戦する前から、諦めてはダメ、結果が分からなくても、まずは挑戦することが大事ということ、その時に教えてもらいました。やる前から答えが分かっている事もあると思いますが、それでもやってみてください。きっとその挑戦した経験は自分を成長させてくれるものだと思います。

Profile

■ すぎたけし

福島県出身。福島県立猪苗代高校卒業後、2007年文化情報学部(現メディア情報学部)に入学。2014年開催予定のソチ冬季パラリンピック、アルペンスキー(座位)に出場が内定している。

現在の仕事について

私は、2011年の4月から駿河台大学学生支援部体育課に勤務しています。主な仕事の内容は、体育施設の管理、スポーツ公認団体の強化費の管理などを行ったり、各クラブの試合情報を大学ホームページに掲載したりしています。



体育課には、学生時代にも何度か行っていたので、実際に対応する側になった時は変な感じがしましたが、学生だった時に体育課の職員の方々は色々支援してくださっていたんだと改めて思いました。

これからは、私が学生達を支援していく立場なので、頑張ってサポートしていきたいと思っています。

仕事の魅力や困難なこと

職場の魅力は、学生やクラブ指導者の方々と一緒にいられることです。

学生とクラブの事について話したり、指導者の方から色々なお話を聞くことができたりと、スポーツに関する情報が多く、現役で競技を続けている私にとって大変魅力的です。

また、私は仕事をしながらソチパラリンピックを目指しています。そこでトレーニングするにあたって、学生達が頑張ってるトレーニングしている所などを見て、自分も負けていけないという対抗心が燃えたり、それに自分は世界で戦っているわけですから、だらしない姿を学生に見せないよう気をつけています。本当に良い環境でトレーニングと仕事をさせていただいています。

逆に困難な面は、仕事が出来なくて上司に迷惑をかけていることぐらいですかね。あと、冬場になると海外遠征に出してしまうことが多いので、迷惑をかけてしまって申し訳ないと思っています。そのため、練習の時は、一本一本を大事に滑っています。

駿河台大学在学時の思い出

私が駿河台大学へ入学しようと思ったきっかけは、情報学の勉強ができ、スキーもできるという環境があったからです。また、私は車いすなのでバリアフリーになっているかを考えなければいけませんでしたが、駿河台大学はバリアフリーが施されており、問題なく通えることが分かったので決めました。

入学してからは、文化情報学部メディア情報学

科に在籍し、クラブ活動では、スキー部に所属していました。秋学期は、ほとんど海外に行ってしまうので、春学期に授業を受けられるだけ受け、秋学期は授業を減らしたりと、スキーのために色々工夫をしていました。また、スキーの遠征などで授業に出席できない時は、先生方の協力のおかげで、授業の代わりにレポートの提出にしてもらったりと助けていただきました。

在学中の一番の思い出では、2010年(当時3年生)にカナダのバンクーバーで開催されたパラリンピックに出場し、大回転で銅メダルを獲得したことです。



あの時は、とても緊張していた記憶があります。横断幕を用意してもらった

り壮行会を開いていただき、メダルをとって帰ってこないかとマズイなって思っていましたから、獲得できた時は本当に嬉しく、いつもは表彰式では大人しくしている自分ですが、その時は万歳までして嬉しさを表現していました。今思うととても恥ずかしいですね。

しかし、良い思い出だけでなく、苦い思い出もあります。大学に入学し親元を離れ寮生活をしていましたが、1人暮らしで自由になったせいか、スポーツをやっている人間としてやってはいけない不健康な生活を1年間送ってしまい、その結果成績が残せず苦しんだ記憶がありますが、今思うと本当に色々経験し、とても充実した大学生活を送れたと思います。

今後の目標について

今の目標は、来年の3月にロシアで開催されるソチパラリンピックでメダルをとることです。みなさんの応援もあり、ソチパラリンピックの代表として内定をいただいています。

今後の予定は、10月の中旬からオーストリアで合宿を約1ヵ月間予定しています。一旦日本に帰国し、直ぐにアメリカ遠征というスケジュールが待っています。アメリカ遠征では合宿の他に、ノルアムカップ(ワールドカップよりもランクが1つ下がるレース)に参加予定です。パラリンピックの年になると試合数が普段よりも減ってしまうため、ワールドカップ以外のレースに、1つでも多く出場し、レースに慣れておく必要があるため今年は参加します。